

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成24年8月2日(2012.8.2)

【公開番号】特開2011-179936(P2011-179936A)

【公開日】平成23年9月15日(2011.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2011-037

【出願番号】特願2010-43696(P2010-43696)

【国際特許分類】

G 0 1 N 23/04 (2006.01)

H 0 5 G 1/26 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 23/04

H 0 5 G 1/26 E

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月18日(2012.6.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

X線発生装置からのX線を被検査物に照射し、その透過X線をX線検出器で検出して得られる透過X線データを用いて、被検査物の透視X線像を構築して表示するX線検査装置において、

被検査物へのX線の累積照射量を測定もしくは推定して記録するX線累積照射量記録手段を備えていることを特徴とするX線検査装置。

【請求項2】

上記X線累積照射量記録手段により記録された被検査物へのX線の累積照射量が、あらかじめ設定されている限界量に達したときに、上記X線発生装置からのX線の照射を自動的に停止するX線照射制御手段を備えていることを特徴とする請求項1に記載のX線検査装置。

【請求項3】

上記X線累積照射量記録手段により記録された被検査物へのX線の累積照射量が、上記限界量よりも少ないあらかじめ設定された量に達した時点で警告を発生する警告発生手段を備えていることを特徴とする請求項1または2に記載のX線検査装置。

【請求項4】

上記X線累積照射量記録手段は、検査時における被検査物の配設位置でのあらかじめ求めておいた線量率を用いて、実際の検査時におけるX線条件、被検査物のX線発生装置からの距離、および照射時間から、被検査物へのX線の累積照射量を演算により推定することを特徴とする請求項1、2または3のいずれか1項に記載のX線検査装置。

【請求項5】

上記X線累積照射量記録手段は、被検査物の近傍に配置されている線量計の出力に基づいて被検査物へのX線の累積照射量を記録することを特徴とする請求項1、2または3のいずれか1項に記載のX線検査装置。

【請求項6】

上記線量計は、上記X線発生装置からのX線の照射領域で、かつ、上記X線検出器の視野外に配置され、上記X線累積照射量記録手段は、あらかじめ記憶しているX線発生装置

の線量分布により上記線量計の出力を補正して被検査物へのX線の累積照射量を記録することを特徴とする請求項5に記載のX線検査装置。

【請求項7】

上記X線累積照射量記録手段は、被検査物上の特定部位へのX線の累積照射量を記録することを特徴とする請求項1、2、3、4、5または6のいずれか1項に記載のX線検査装置。